

第18回
広域連携医療ネットワークシステム研究会
(GCM18)

オンライン診療 恒久化の課題

令和3年7月17日

特定非営利活動法人 全国在宅医療推進協会
事務局長 田中 正彦

主な内容

- ① 医療現場の現状
- ② オンライン診療の現状
- ③ オンライン診療の印象・評価
- ④ 今後の予測（恒常化への条件）

① 医療現場の現状

コロナ禍により国民皆保険制度 最大の危機

世界に誇る制度であったフリーアクセスの崩壊

(保険証さえあれば、いつでも、どこでも、が機能不全)

参考

1961(昭和36)年、国民皆保険制度、国民年金制度など施行開始、特に皆保険制度のフリーアクセス制度は、我が国を世界最高レベルの長寿国に導いたシステムとして海外から高い評価を得ている。

国は深刻な懸念 打開策としてオンライン診療の推進

② オンライン診療の現状

今までの経緯

2018年4月：初診不可、疾患限定など条件付きながら運用開始、患者ニーズ低、医師も消極的

2019年4月：条件緩和、使用機器の明確化など環境整備

2020年4月：COVID-19対応策として、初診からのオンライン診療を認可(時限立法)

2020年10月：オンライン初診恒久化発言(菅総理)

2021年6月：同恒久化発言(河野規制改革大臣)

補完的位置付け→独立した新たな診療形態へ

技術面（オンライン診療ツール）

現在10種程度のアプリが存在、主流は3~4社
今後、通信大手や大手ITからの参入もあり

機能（※は一部搭載） 患者さんがインストールすると

- ・オンライン予約
- ・問診機能（※）
- ・カードもしくは電子マネー決済
- ・電子カルテとの連動（※）
- ・身体情報管理（指定の血圧計など）
- ・薬剤配送（※）
- ・各社独自のセキュリティ対策

費用は初期投資数十万、月額制、無償など様々

ここ数年で充実の一途

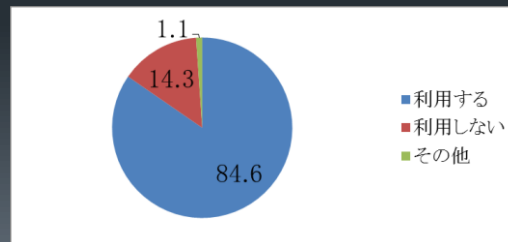
③ オンライン診療の評価（患者レベル）

n=91

介護従事者、化学系研究者、サラリーマン、経営者、飲食従業員、工場労働者、地方公務員、団体職員、税理士、主婦、信金窓口、薬剤師、議員秘書、教員、大学生、アルバイト（レジ係）等 ランダムに聞き取り

オンライン診療について、今後利用するかを確認

病状は、歩いて病医院に移動できる程度（軽中等度）
（頭痛、腹痛、下痢、胃酸逆流、発熱、咳、花粉症、めまい等）



③ オンライン診療の評価(患者レベル)

歓迎派

- かかりつけ医のいない若年層
- 服薬が中心の軽症疾患を有する壮年層
- とにかく低コストを欲する方
- 非対面を希望する方(コロナ禍で医療機関が怖い)
- 時間的制約あり、または待ち時間が苦手な方
- 進取の気象が強い方
- IT関連の方(情報収集、市場調査も兼ねて)
- 対面診療に不安のある方(予期せぬ採血などが嫌)
- プライバシー重視の方(他の患者に見られたくない)

時間効率、費用対効果など合理性重視

③ オンライン診療の評価(患者レベル)

消極派

- 高齢者などIT操作不能の方
- 定期チェックを要する持病のある方
- 生化学検査、画像診断など早く行って欲しい
- 理学療法を希望する方(牽引、低周波など)
- かかりつけ医を信頼している
- 受診することで安心感が得られる
- 妻が通常診療でないと安心しない
- 症状の正確な表現に自信がない
- 行かないと先生に申し訳ない・・・

物理的理由と心理的理由に分かれる

③ オンライン診療の評価(医療・行政)

- ・原則は、かかりつけ医が実施、十分に病状を把握した患者の中で、オンラインに適した方に勧奨する
- ・全く新規の患者には、十分な付帯情報が必要でより効果的な問診アプリなど期待したい
- ・様々な感覚を駆使した診療が出来ないのは遺憾しかし軽症レベルでは十分対応可能
- ・医師のインタビュー(聞き取り)能力が問われる

- ・医療費削減、過剰投薬の抑制など期待
- ・フリーアクセスの回復
- ・早期発見・早期治療の原則が維持できる
- ・時代に即した医療の「新様式」補完から主力へ

今後の予測

確実に増加は見込める ただ現状のままでは「漸増」

- ・一度経験すればメリットを実感し継続利用
- ・口コミ、ネット掲示板など増加(情報量は増える)
- ・有名病院での取り組み拡大(話題性の向上)

反面、実施医療機関は微増(医療側のメリット僅少)

大企業健保組合の勧奨や自治体による地域医療政策など、個ではなく集团的・組織的な普及策がカギ

最も難題・・・オンライン診療報酬を上げるかどうか

最後に

技術面は日進月歩で土台は十分に整備

ある経営者

「自分の健康を守ることが最大の仕事」

コロナ禍で「自己責任」の思想が増加

仕事であればオンラインが高効率で有用

ご清聴ありがとうございました